

[成果情報名] 中ヨークシャー種交雑銘柄豚の発育特性

[要 約] 中ヨークシャー交雑種（LWY種）の発育曲線および体重から飼料摂取量を算出する回帰式を明らかにした。体重 110kg 到達前に出荷することで生産効率の向上が期待できる。

[部 署] 山形県農業総合研究センター養豚試験場

[連絡先] TEL 0234-91-1255

[成果区分] 普

[キーワード] 中ヨークシャー交雑種 発育曲線 生産効率

[背景・ねらい]

中ヨークシャー種交雑銘柄豚の生産現場では、収益性の向上を図り銘柄豚の基盤をより強化することが望まれている。このため、中ヨークシャー交雑種の詳細な発育特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. LWY種の発育曲線は、日齢を x 、体重を y とした回帰式 “ $y = -0.0000044x^3 + 0.1345892x^2 - 0.4954808x + 17.0892593$ ” で表される（図1）。
2. LWY種は体重 110kg 到達前に出荷することで生産効率の向上が期待できる（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 試験データを生産者団体へ提供し生産の効率化に活用する。
2. 生産現場において適正出荷体重を検討する際には、環境要因等を考慮する必要がある。

[具体的なデータ]

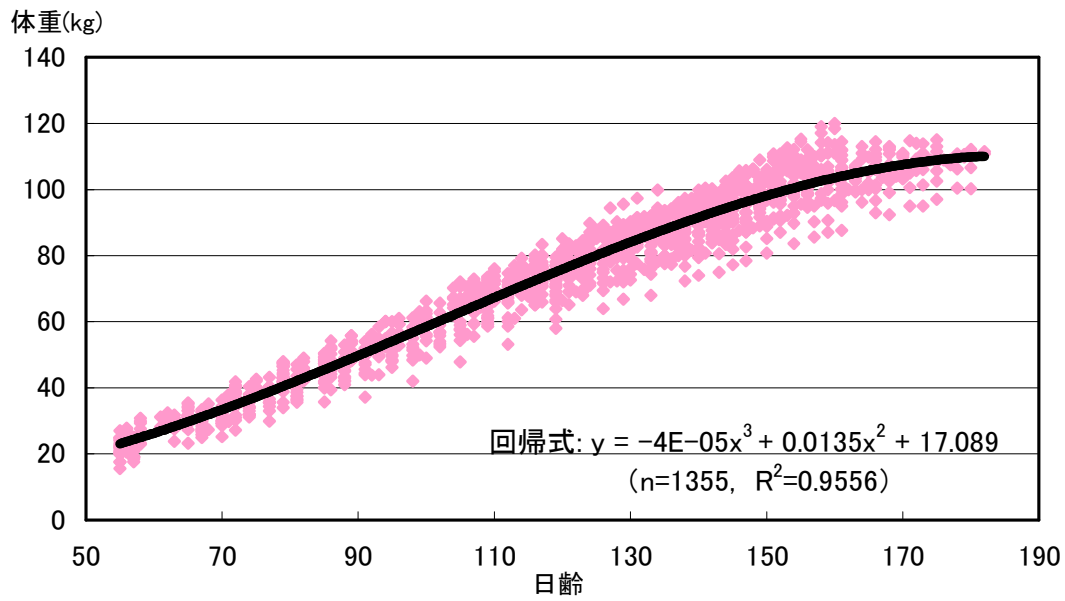


図1 発育曲線

表1. と畜体重と生産効率

区	枝肉重量 (kg)	1頭あたり飼料費 (円)	枝肉1kg生産 飼料費(円)
90kgと畜区	64.2 ± 1.5 c	13,087 ± 1,249 c	204.0 ± 20.2 b
100kgと畜区	71.1 ± 1.5 b	15,226 ± 828 b	214.5 ± 14.4 ab
110kgと畜区	80.2 ± 3.0 a	18,483 ± 2,626 a	230.3 ± 28.7 a

※異符号間に有意差あり(p<0.05)。

飼料費は肥育期飼料のみ計算。肥育前期68円/kg、肥育後期65円/kgで試算。

[その他]

研究課題名：中ヨークシャー種交雑銘柄豚の適正出荷体重の検討

予算区分：受託

研究期間：平成25年度（平成25年度）

研究担当者：五十嵐宏行

発表論文等：なし